

第 11 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 手話パフォーマンスアドバイザー派遣実施要領

1 目的・概要

全国高校生手話パフォーマンス甲子園（以下「大会」という。）の予選参加校の手話パフォーマンスや取り組み意欲の向上等により、大会全体のレベルアップや裾野の拡大を図るため、手話言語及び演技の表現等についてアドバイスができる者（以下「手話パフォーマンスアドバイザー」という。）を希望する学校に派遣するもの。

2 内容

（1）派遣募集対象校

以下を満たす高等学校等とする。

- ・ これまで予選を通過したことのない学校
 - ・ 第 11 回大会に参加申込予定であること
 - ・ 手話パフォーマンスアドバイザーの派遣時期までに演技構成や内容が概ね作成できていること
- ※ 3 の（1）の募集期間内に、台本その他演技内容が分かる構成案等を事務局へ提出してください。

※このアドバイザー派遣制度の活用により、パフォーマンスの質を更に高めていただきたいと考えています。
※演技構成や内容が作成できていない場合も、伝わりやすい手話言語表現ポイントのアドバイス等、最寄りの聴覚障害者団体等への協力依頼も考えられますので、お困りの場合は大会事務局へ御相談ください。

（2）派遣校の数

4 校程度

（3）派遣校の決定

応募のあった高等学校等の中から、手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局（以下「事務局」という。）が厳正に抽選し、手話パフォーマンス派遣校を決定する。

（4）派遣する時期・回数

令和 6 年 6 月上旬から 7 月上旬までの間に 1 ～ 2 回

（5）派遣する者

手話パフォーマンスアドバイザーを各校に 1 名派遣

（6）アドバイザーの調整・決定

派遣校の演技予定内容・分野、地域等を踏まえ、事務局において派遣するアドバイザーを調整・決定する。

なお、手話パフォーマンスアドバイザーは、ろう者又はろう者以外のいずれかの者と、各演技分野の活動に携わっている者を予定している。

（7）アドバイス内容

手話言語表現や演技内容についてのアドバイスを行う。

3 募集

（1）募集期間

令和 6 年 4 月 1 日（月）から 5 月 17 日（金）まで

（2）申込先

別添申込書により、6 に記載する事務局へメール又はファクシミリにて申し込むこと。

4 その他

（1）手話パフォーマンス甲子園実行委員会が手配するアドバイザー及び手話通訳者の派遣に要する経費は、手話パフォーマンス甲子園実行委員会が負担する。ただし、経費負担する時間は 3 時間×2 回を上限とする。

（2）アドバイスを受ける会場は、学校が準備すること。

（3）手話パフォーマンス甲子園実行委員会が手配する手話通訳者以外に手話通訳者が必要な場合は、学校が

都道府県聴覚障害者協会等の協力を得ながら、アドバイスを円滑に手話通訳できる者を手配すること。（学校が手配する手話通訳者に係る経費は学校側の負担とする。）

（４）派遣時の写真等は、大会公式ホームページへの掲載等、大会広報に使用する場合がある。

（５）派遣後、実施状況や意見・感想についてのアンケート回答に協力すること。

5 スケジュール（予定）

- ・ アドバイザー派遣募集 4月1日（月）から5月17日（金）まで
- ・ 派遣校の決定（抽選） 5月下旬
- ・ アドバイザー調整 //
- ・ アドバイザー派遣 6月上旬から7月上旬までの間のうち最大2日

【参考：第11回大会に係るスケジュール】

- 参加募集 4月22日（月）から6月28日（金）まで
- 予選審査動画提出 7月16日（火）まで
- 予選審査・結果発表 7月25日（木）及び7月26日（金）
- 本大会 9月22日（日）

6 問合せ・申込先

手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地（鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内）

電話：0857-26-7682 FAX：0857-26-8136 Eメール：s-koushien@pref.tottori.lg.jp

別 添

第 11 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
手話パフォーマンスアドバイザー派遣申込書

年 月 日

手話パフォーマンス甲子園実行委員会 会長 様

1 申込者

学校名	
所在地	
担当者職氏名	
連絡先	電 話 : ファクシミリ : メール :

2 アドバイザー派遣を希望する演技分野及び希望派遣方法
以下のいずれかに○を記載

希望する分野	
① 歌唱・手話歌	
② ダンス	
③ 演劇	
④ その他 []	

3 派遣を希望する時期・場所等（予定）

2 回の派遣を ☐ 希望する ☐ 希望しない

日時	第 1 希望	第 2 希望	第 3 希望
	期日 : 時間 :	期日 : 時間 :	期日 : 時間 :
場所			
参加生徒数	名程度		

※派遣日時は学校の希望及びアドバイザーの日程調整により上記日程から上限 2 日間を決定

4 演技内容等

第 11 回大会の演技予定内容	
アドバイスを受けた内容等	
その他	

今大会から「演劇・コント・ポエム等部門」と
「ダンス・歌唱部門」の2部門制に!!

高校生なら
誰でも参加
できます!!

第11回

全国高校生

手話

パフォーマンス

甲子園

令和6年

9月22日日

会場:米子コンベンションセンター

(鳥取県米子市末広町294)

参加チームを
募集します!!

申込期間 4/22月・6/28金 本大会出場チームに
交通費・宿泊費の助成あり

予選審査動画 7/16火 予選審査会 7/25木 結果発表 7/26金
提出期限

主催 手話パフォーマンス甲子園実行委員会
[事務局] 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内

共催 鳥取県・公益社団法人 鳥取県聴覚障害者協会

特別協賛 日本財団

特別協力 一般財団法人 全日本ろうあ連盟

詳しくは 手話パフォーマンス甲子園

検索



YouTube

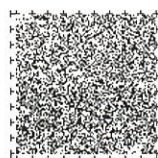
Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

大会公式ホームページ

募集の
詳細は
こちら▶



音声コード
目の不自由な方のための



第11回 全国高校生手話パフォーマンス甲子園 開催要項

●目的

ろう者とうろう者以外の者が互いを理解し共生することができる社会を築く「鳥取県手話言語条例」の理念を実現すべく、全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げる場をつくり発信することにより、多くの人に手話言語の魅力や手話言語が優れた意思及び情報伝達手段であることを実感してもらうとともに、手話言語とパフォーマンスを通じた交流の推進及び地域の活性化に寄与することを目的に、「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」を「手話の聖地」鳥取県で開催する。

●大会概要

- (1)大会名 第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園
(以下「本大会」という。)
- (2)日 時 令和6年9月22日(日)
午前9時30分から午後4時10分まで(時間は予定)
- (3)会 場 米子コンベンションセンター(鳥取県米子市末広町294)
- (4)出 場 予選審査を通過した16チーム
(演劇・コント・ボエム等部門、ダンス・歌唱部門 各8チーム)
- (5)内 容 以下のとおり
 - ①開会式(関係者挨拶、優勝旗返還、選手宣誓、チーム紹介)
 - ②出場チーム演技(前半:演劇・コント・ボエム等部門 後半:ダンス・歌唱部門)
 - ③ゲストコーナー
 - ④審査結果発表・表彰式
 - ⑤講評・閉会

●主 催

手話パフォーマンス甲子園実行委員会

●共 催

鳥取県、公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

●特別協賛

日本財団

●特別協力

一般財団法人全日本ろうあ連盟

●参加資格

- (1)令和6年度に高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)、特別支援学校高等部、高等専門学校(3年生まで)、専修学校及び各種学校(修業年限が高等学校と一致している生徒に限る。)に在籍していること。
- (2)本大会に参加することについて、校長の承認が得られていること。また、参加する生徒について、校長の推薦が得られていること。
- (3)本大会への参加に当たって、原則として在籍する学校の教職員が引率できること。
- (4)原則として、本大会の全日程、本大会前日のリハーサル及び交流会に参加できること。

●チーム編成

1チームの編成は、両部門とも同一校又は複数校で編成するチームの生徒及び引率者とし、生徒は演技者の他、演技の補助者や必要に応じてチームの介添え者を含めることとする。人数は最大で生徒20人以内、引率者10人以内とし、予選参加者は原則として本大会に出場できる生徒とする。ただし、予選審査後に生じたやむを得ない事情等がある場合は、本大会に出場する生徒を変更(若干名の増減)できるものとする。(同一校から各部門1チームずつ、合計2チームの参加が可能。)

同一校からの複数チームの参加申込みは可能とするが、本大会に出場できるのは予選審査で同一校中、各部門最上位のチームのみとする。なお、同一人が複数チームで参加することは認めない。

●演技内容等

- (1)手話言語を使った歌唱、ダンス、演劇、ボエム、コント、落語、漫才などのパフォーマンスを「演劇・コント・ボエム等部門」「ダンス・歌唱部門」の2部門に分けて審査する。パフォーマンスは表情も含め手話言語を正確に使いながら、伝えようとする意志をしっかりと持ち、工夫された演出や構成と豊かな表現力により演じられるものとする。
※なお、手話パフォーマンス甲子園(予選及び本大会含む)に出場したことのあるチームについては、自校の過去の演技テーマ、構成等と同じでも問題はないが、同じ内容にする場合には、参考情報として理由等を様式第5号「第11回全国高校生手話パフォーマンス甲子園予選審査演技情報」に記載し提出すること。また、審査基準としては、必ずしも音(音声や音楽など)を用いる必要はないことを申し添える。
- (2)本大会での演技時間は、両部門ごとに以下のとおりとする。
演劇・コント・ボエム等部門 3分以上8分以内
ダンス・歌唱部門 3分以上6分以内
なお、予選審査会においては、3分以内の動画を提出するものとする。
- (3)演技スペースは、概ね間口10メートル、奥行5メートルの範囲とする。なお、演技中に演技スペースから舞台袖への出入りは可能とする。
- (4)情報保障の観点から、演技中、歌詞やセリフ等には字幕を必ず表示させること。字幕は、予選審査動画においては映像の中に、本大会においては演技スペース後方に設置するスクリーンに表示させること。なお、本大会の演技中は、主催者側で歌詞やセリフ等の要約筆記等は行わない。
- (5)舞台上での演技(音声によるナレーション等の演技補助を含む)は全て生徒が行うこととし、字幕表示、音響・照明のキュー出し等、演技以外の舞台進行に係る作業は生徒が主体的に行うよう努めること。
- (6)演技の補助として、簡素な小道具、舞台装置、背景、スクリーン等のみ使用を認める。(概ね1分以内に準備が完了できるものに限る。)。なお、演技中に、小道具、会場にない設備(特殊な照明や音響等)等を使用する場合は、原則として各チームにおいて用意すること。なお、これらの使用については、本大会前に舞台監督と詳細の打ち合わせをすること。
- (7)スクリーンに表示する内容については字幕のみとする。
- (8)予選審査における動画の撮影ルール等の取り扱いは、別途提示する。なお、予選審査に複数の演技内容の動画を提出することは認めない。

●審査方法

- (1)主催者が委嘱した審査員が部門毎に審査及び採点を行う。
- (2)審査員は、各部門5名から構成し、審査員長は主催者が選出し、両部門の審査を行うこととする。
- (3)予選審査は、参加申込みチームが提出した演技動画を視聴する方法により、審査員が行う。
- (4)予選審査会及び本大会の審査基準、採点方法、演技時間の計測方法等は、別途定める。

●参加申込期間

- (1)申込期間 令和6年4月22日(月)から6月28日(金)まで
(※郵送により提出される場合は、提出期限の消印まで有効)
※予選審査動画の提出期限は、令和6年7月16日(火)まで【必着】

●参加申込方法・提出資料

「とっとり電子申請サービス」の申込フォームに各提出資料を添付して参加申込みすること。

- ①参加申込書 ②校長承認及び推薦書
- ③予選参加者名簿 ④チーム紹介文
- ⑤予選審査演技情報 ⑥チーム画像
- ⑦予選審査動画 ⑧高校名の手話動画

提出期限

- ①②:6月28日(金)
- ③~⑧:7月16日(火)

●参加料

不要

●助成金

出場チーム(生徒、引率者)に、以下のとおり交通費、宿泊費の実費相当額を設定上限額内で助成する。なお、助成申請方法等については、別途事務局が示す手続きによること。(領収書等必要)

※各地域の1チームあたりの上限額は以下のとおり

- 北海道、東北地方、関東地方、中部地方、九州地方、沖縄県 385,000円
- 近畿地方、中国地方(鳥取県を除く)、四国地方 335,000円
- 鳥取県内 285,000円

●表 彰

表彰は以下のとおりとする。

(1)部門毎の表彰

- ア 優 勝(賞状、優勝旗、メダル、副賞を授与する。)
- イ 準優勝(賞状、準優勝盾、メダル、副賞を授与する。)
- ウ 3 位(賞状、盾、メダル、副賞を授与する。)
- エ 審査員特別賞(賞状、盾、副賞を授与する。)

(2)大会開催に関わる以下の団体が別途選出したチームへの表彰(部門問わず)

全日本ろうあ連盟賞、日本財団賞、鳥取県聴覚障害者協会賞(賞状、盾、副賞を授与する。)

(3)その他、上記受賞チーム以外の全ての本大会出場チームに手話パフォーマンス奨励賞を授与する。

●予選審査会・審査結果発表

- (1)日 程 令和6年7月25日(木)及び26日(金)
- (2)場 所 鳥取県庁内
- (3)内 容 参加申込みチームが提出した予選審査動画の視聴により審査を実施し、本大会に出場する16チームを選出する。
- (4)結 果 令和6年7月26日(金)に審査結果発表会を公開して行う(インターネットでライブ中継あり)。
なお、発表会終了後、公式ホームページ上に審査結果を掲載する。
- (5)その他 上記(4)の審査結果発表会の際に、本大会の各チームの演技の順番及び選手宣誓を担当するチームを抽選で決定する。(本大会出場チーム確定後に、抽選を行う。)
なお、選手宣誓については、手話言語を用いて行うこと。

●交流会

- (1)日 時 令和6年9月21日(土)(本大会前日)
午後6時から午後8時30分まで(時間は予定)
- (2)場 所 鳥取県米子市内
- (3)内 容 出場チームや大会関係者等が一堂に会し、交流を深めるもの。
- (4)その他 参加者の交流を深める目的であることから、原則として参加すること。
(参加費は不要。)

●スケジュール

- 令和6年(2024年)
 - 4月22日(月) 参加申込み受付開始
 - 6月28日(金) 参加申込み締切
 - 7月16日(火) 予選審査動画の提出締切
 - 7月25日(木) 予選審査会
 - 7月26日(金) 審査結果発表
(結果発表、本大会演技順及び選手宣誓チームの抽選決定)
 - 9月21日(土) リハーサル、交流会
 - 9月22日(日) 本大会

●問合せ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220番地
手話パフォーマンス甲子園実行委員会事務局
(鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局障がい福祉課内)
電話:0857-26-7682 FAX:0857-26-8136
Eメール:s-koushien@pref.tottori.lg.jp

●動画チャンネル(Youtube)

過去大会のパフォーマンス動画を公開中!
<https://www.youtube.com/user/skoushien>

